



リサイクル業務 捨てたもんじゃない



環境に配慮した社会の必要性が注目されるなか、「サンパイ女子」の特集が組まれたり、女性だけの「男社会」と思われるがちな産業廃棄物処理業界に女性を呼び込もうという動きがある。専門誌で業界で働く「サンパイ女子」の特集が組まれたり、業界もイメージ刷新に力を入れる。そもそも産業廃棄物処理ってどんな仕事なのか。まずはそれが知りたくて、サンパイ女子として、大阪市内のリサイクルセンターに乗り込み、探偵することになった。

(上岡由美)

サンパイ女子として潜入せよ



趣味…ちょっと恥ずかしいが、絵本や人形などかわいいものが好き。眺めていると、童心に帰つて心が落ち着く。
特技…前回、趣味として中国語の勉強を始めたと書いたが、まったく進まない。いつか特技にしたいと思っていたが、諦めた。



性も男性も関係ない、そういう時代やと思っているので。女性が増えれば業界もきっと変わることを、力を入れる。そもそも産業廃棄物処理の専門誌「INDUSTRIAL INDUSTRY」の平成27年1月号でサンパイ女子だけの座談会の記事が掲載され、その後も業界で活躍する女性を取り上げるようになった。同会による「統計はどつていませんが、サンパイ女子は岱岱増えたと思います。関東地域協議会では女性部会をつくり、それ活動しているようですが、サンパイ女子は岱岱増えたと思われます。また、兵庫県芦屋市では女性だけの「み收集チーム」「さくらチーム」が活躍。地域住民に親しまれているという。

女性雇用促進

実は合同衛生でも約8年前、同センターに50代の女性を雇い入れたことがある。「今までには男性だけでやつてきただけで、女性が入りにくい。しかも廃棄物を回収したり。しかも制服やないぐるみなで生まれ変わらうぞうだ。生まされるので力はいらない。しかも安全のためには機械がやつてくれるのでは手や服が汚れることもない。これなら私も気にせず働ける。ただ安全のために軍手とビニール製手袋を二重にはめているので、さすがに暑い。扇風機もエアコンもフル稼働だが、「仕事中はメークをしない方がいいかも」。

取材を終えて会社に戻ると、いつも資料など、みの山に閉まれているデスクに「どうやった?」と興味津々のまなざしで尋ねられた。「私、臭いませんか」と聞き返すと、「金然」という返事に安心する。

男女関係なし

リサイクルで大きな役割を果たす産業廃棄物処理業は、社会貢献度の高い仕事ながら、女性に人気の職場かといえば、まだ言い難い。それはイメージの問題も大きいだろう。それでも林社長は「これからは女性も男性も関係ない、そういう時代やと思っているので。女性が増えれば業界もきっと変わることを、力を入れる。そもそも産業廃棄物処理の専門誌「INDUSTRIAL INDUSTRY」の平成27年1月号でサンパイ女子だけの座談会の記事が掲載され、その後も業界で活躍する女性を取り上げるようになった。同会による「統計はどつていませんが、サンパイ女子は岱岱増えたと思われます。関東地域協議会では女性部会をつくり、それ活動しているようですが、サンパイ女子は岱岱増えたと思われます。また、兵庫県芦屋市では女性だけの「み收集チーム」「さくらチーム」が活躍。地域住民に親しまれているという。

性も男性も関係ない、そういう時代やと思っているので。女性が増えれば業界もきっと変わることを、力を入れる。そもそも産業廃棄物処理の専門誌「INDUSTRIAL INDUSTRY」の平成27年1月号でサンパイ女子だけの座談会の記事が掲載され、その後も業界で活躍する女性を取り上げるようになった。同会による「統計はどつていませんが、サンパイ女子は岱岱増えたと思われます。関東地域協議会では女性部会をつくり、それ活動しているようですが、サンパイ女子は岱岱増えたと思われます。また、兵庫県芦屋市では女性だけの「み收集チーム」「さくらチーム」が活躍。地域住民に親しまれているという。